

読んでみよう 解いてみよう  
**さん太のワークシート**

朝日塾小（岡山市）の5年生が、世界の国旗を刺しゅうし、その写真をSNS（会員制交流サイト）を活用して「リレー」する取り組みに挑戦しています。記事を読み質問に答えましょう。

# 国旗刺しゅう

朝日塾小5年生協力呼び掛け

# SNSリレー

朝日塾小（岡山市北区吉宗）の5年生が、SNS（会員制交流サイト）を活用し、世界各国の国旗を刺しゅうしてリレー方式で他者につないでいく取り組みを展開している。平和創出に向けた

アイデア募集で最優秀に輝いたクラスメートの提案を具体化。国内外に広めることが目標で、児童は「世界平和について考えるきっかけにしたい」と参加を呼び掛けている。（小川耕平）



国旗を刺しゅうする朝日塾小5年生

（49）と相談し、取り組みをスタート。10月に佐久間教諭のツイッターやフェイスブックのアカウントを活用し、東條さんが施した刺しゅうの写真を投稿した。11月上旬には家庭科の授業で、25人全員が挑戦した。今後は他のクラスの児童やPTAに協力を依頼したり、動画投稿サイト・YouTubeにPR動画を投稿したりする計画。東條さんは「国旗は世界共通で、言葉が通じなくても平和への思いを共有できるはず。刺しゅうで作品を仕上げる喜びも感じながら、平和への思いが広がってほしい」と話している。

## 世界平和考える契機に

取り組みは、好きな国旗の刺しゅうを自作し、その写真を「#国旗刺しゅうリレー」のハッシュタグ（検索目印）を付けてSNSにアップ。投稿を見た次の協力者につなげていく仕組みだ。取組みは、好きな国旗の刺しゅうを自作し、その写真を「#国旗刺しゅうリレー」のハッシュタグ（検索目印）を付けてSNSにアップ。投稿を見た次の協力者につなげていく仕組みだ。発案者は東條ほのあさん（11）。世界の子どもを対象に人権や環境などをテーマにアイデア募集した「子ども peace future」賞（3人の中から最優秀の「Mos」を受賞した。この内容に共感した同小5年A組（25人）のクラスメイトが担任の佐久間賢志教諭

アイデアを形にするって  
 すてきだね



Q1 ★★★★★

国旗を刺しゅうしSNSでつなぐ取り組みは、ある一人の児童のアイデアです。この取り組みを広げること、何をめざしているのでしょうか。第1段落、見出しを読み答えましょう。

Q2 ★★★★★

世界の国旗にはどんなものがあるか、図書館の本やインターネットを使って調べてみましょう。好きな国旗の「国」についても、調べてみましょう。

Q3 ★★★★★

「国旗刺しゅうリレー」のように、世界のひとと仲良くするための新しいアイデアを考えてみましょう。

14日付、山陽新聞日曜ワイド

★の数は問題の難易度を表しています。